

耳西だより9月

2学期が始まりました！



朝夕の風によりやく秋の気配が感じられるようになってまいりました。

夏休みが明け、子どもたちのにぎやかな声がまた学校に戻ってきたことを心からうれしく思っております。

久しぶりに会った子どもたちは、元気いっぱい、体が大きくなり、表情もお兄さん、お姉さんらしくなりました。夏休み中、ご家庭で様々な経験を重ねたことで、一人ひとりの心と体が大きく成長したことを実感しております。ご家庭でたくさんの「夏休みの思い出」ができたのではないのでしょうか。

いよいよ始まった2学期は、たくさんの行事が予定されています。様々な活動をみんなで楽しみながら、日々の学習にも全力で励んでほしいと願っています。

夏休み明けのこの時期は、生活リズムを整えるのに少し時間がかかるお子さんもいます。ご家庭も何かと忙しい毎日とは存じますが、お家でお子さんの話をゆっくりと聞きながら、できるだけゆったりと過ごせる時間を作っていただけますと幸いです。

また、9月に入ってもまだまだ厳しい暑さが続く予報が出ております。学校では引き続き熱中症に十分注意し、こまめな水分補給や休憩を促しながら、安全に学習活動を進めてまいります。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

「防災の日」に考える日頃の備えと心構え



9月1日は「防災の日」です。この日は、甚大(じんだい)な被害をもたらした関東大震災が発生した日であり、私たち一人ひとりが日頃の防災意識を見直す大切な節目となっています。

今年の夏休みを振り返っても、7月の熊本地震をはじめ、最近では石川県、千葉県、福井県、富山県など、各地で豪雨災害が相次いで発生しました。度重なる災害により被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

自然災害は、いつ、どこで私たちの身にふりかかるかわかりません。「他人事」ではなく「我が事」としてとらえる心構えが必要です。

災害への備えは、決して難しいことばかりではありません。

- 非常用持ち出し袋の中身を点検する
- 家族で避難場所や連絡方法を話し合う
- 自宅の家具の固定状況を確認する



このように、日常の中で「できることを、できるときに」少しずつ進めていくことが、いざという時の大きな安心に繋がります。

この防災の日をきっかけに、まずは身近な備えから一歩を踏み出してみませんか。